



QUICKSTART-GUIDE

Mini Series Dry Contact Sensor

プレサックミニシリーズ ドライ接点センサ クイックガイド

1. 初めに

この度はプレサックミニシリーズドライ接点センサをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり内容を十分に理解されたうえで、正しく製品をお使い頂きますようお願いいたします。

ご使用前に本機の派生（補助電池あり・なし）を再確認し、派生にあった正しい操作を行ってください。

本書中のマークの説明



警告 — 危険性が想定される重要な情報を意味します



注意 — 注意事項とその詳しい情報やリンク先を含みます



警告 — 本書に述べる用途以外での使用は回避ください。本機は湿気・ホコリ・汚れのない直射日光・冷暖房源付近を避けた屋内での使用に限られます。また無線通信の妨げになるため、金属製のケース（扉）内でのご使用は回避ください。センサ本体は、取り付けまたは電池交換の必要がない場合は開けないでください。誤作動や故障が疑われる場合は製造者までご報告をお願いいたします。



詳細は <http://www.pressac.com> をご覧ください。

| | |
|---|---|
| Pressac Communications Ltd 145 Glaisdale Drive West Nottingham NG8 4GY | E: sales@pressac.com T: +44 (0) 115 936 5200 E: tech_support@pressac.com T: +44 (0) 115 936 5238 |
|---|---|

2. 製品概要

本機はドライ（無電圧）接点出力の変化を感知、無線で通信・報告するセンサです。プッシュワイヤ端子により工具の必要なく簡単に、またグリップ固定で確実にドライ接点端子に接続ができます。付属の粘着テープまたはねじによりバックプレートも簡単に取り付けが可能です。

特徴

- 起・稼動に必要なエネルギーを環境照明より搾取するエナジーハーベスティング
- 照明が十分でない環境には補助電池バージョンを使用することで継続した動作が可能
- 既存機器や設備等への影響がなく素早い据え付けが可能
- 配線の必要がないため場所を選ばない据え付けが可能

機能

- ドライ接点の開閉状態を感知・報告
- エンオーシャン規格に準じた無線信号での通信・報告

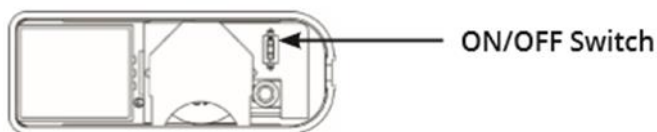
使用例

- ドア・窓の開け閉め状況の把握
- 機械スイッチ、タンパスイッチの状況把握
- 接点プレート
- ドライ接点出力の把握
- 機器の稼働・非稼働の把握

3. 動作開始方法

ソーラー+補助電池バージョン

初めて使用される際に補助電池を ON にする必要があります。裏面のカバーを開け、スイッチをスライドし ON の状態にしてから使用を開始してください。



ソーラーのみバージョン

初めてのご使用时には先ず本機を最低200ルクスの光源下に5分以上を置き、ソーラーセルのチャージを行ったうえで使用を開始してください。



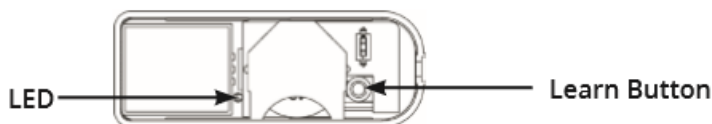
4. セキュリティーモード

本機には通信信号の暗号化機能は搭載されておりません。

5. 接続・起動

本機をエンオーシャンネットワークへ接続します。

1. 本機の位置がエンオーシャンゲートウェイ・受信機の通信範囲内にあることを確認してください。
2. ゲートウェイ・受信機を登録モードに設定してください。
3. 本体裏面の Learn ボタンを押すと LED ライトが1回点滅し、センサから Teach-in（登録）信号が送信されます。



4. Teach-in 完了までそのまま待ちます。
5. ゲートウェイ・受信機側で登録完了を確認してください。

本機は本体裏面の製品ラベルに記されるエンオーシャン ID と EEP（EnOcean Equipment Profile）を用いてマニュアル登録でエンオーシャンネットワークへ接続することも可能です。

6. センサの位置決めと設置



警告 — 取り付け対象の機器に（既存の）不具合が存在する、絶縁されていない、ドライ接点（無電圧）ではない、または本機が正しく取り付けられていない等の場合は感電の危険性が発生します。主電源を使用する電気機器類の取り扱いには有資格者が責任をもって行ってください。

取り付け位置・環境を決めた後、付属の粘着テープまたはねじを用いてセンサ本体の取り付けを行います。

粘着テープを用いての取り付け

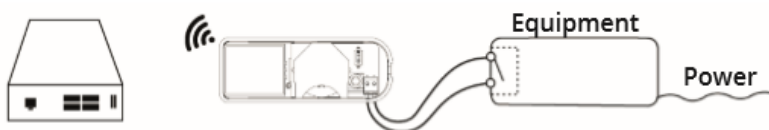
1. 付属のアルコール拭き取り紙を用いて取り付け場所表面を拭き取り、ホコリ・汚れ・水分がないかを確認してください。
2. 付属の粘着パッドをセンサ本体低部に貼り付けます。
3. 粘着パッドの保護フィルムを剥がします。
4. センサ本体を取り付け位置に貼りつけます。

ねじを用いての取り付け

1. 本体側面にある留めねじを先ず外してセンサを開け、本体とバックプレートの2部品に分離します。
2. 付属のねじを用いてバックプレートを取り付け位置に取り付けます。
3. センサ本体をバックプレートに取り付けます。
4. 製品側面の留めねじを締めて本体とバックプレートを一つに戻します。ねじを確実に締めて製品を固定してください。

7. 接続

本機はドライ接点出力を備えた機器への接続を行うものです。ドライ接点は常に開き状態にあるものと常に閉鎖状態にあるものの2タイプがあります。接続ワイヤの直径は最大で1.3mm, 長さは最長で1mとなります。



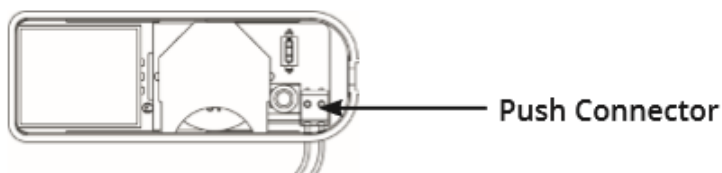
1. 本体側面にある留めねじを外してセンサを開け、本体とバックプレートの2部品に分離します。
2. 接続ワイヤをプッシュワイヤー端子（センサ筐体の2つの穴）に差し込みます。
3. ワイヤが確実に接続されていることを確認し、バックプレートと本体を一つに戻します。



注意：通常閉鎖状態にあるドライ接点への接続は継続した検知が必要になるため、（常に開き状態にある接点への接続よりも）消費電力が大きくなり電池使用量に差が生じます。

切断

1. 本体側面にある留めねじを外してセンサを開け、本体とバックプレートの2部品に分離します。
2. 接続端子（プッシュワイヤ端子）の上部を適切な工具で押しワイヤーを引き抜きます。



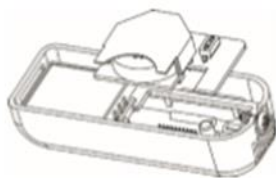
警告 — 本機を感電保護（絶縁）クラス3機器以外の機器に接続すると人体（健康）への影響を及ぼす危険性が発生します。またコンタクトアウトプットは使用する機器への電力供給に対応した適切な絶縁がなされていることを確認して下さい。

8. 補助電池の交換

補助電池の寿命はデフォルト設定下での使用では、本書の仕様表に示す通りとなります。仕様表をご参照ください。

補助電池は以下の手順で交換してください。

1. 本体側面の留めねじを外しバックプレートとセンサ本体の2部品に分離します。
2. 電池ユニット（サブボード）を持ち上げセンサ本体から分離します。
3. 電池を交換します。
4. 電池ユニット（サブボード）を本体に戻します。
5. センサ本体をバックプレートに戻します。
6. 留めねじを締めて本体とバックプレートを一つに戻します。



技術標準適合証明

プレサックミニシリーズ ドライ接点センサ 928MH z

この製品は日本電波法に準拠し ARIB STD-T108 の技術適合認証を取得しています。技術基準適合証明書についてはプレサック社（下記住所）へお尋ねください。ご要望に応じ技術基準適合証明書のコピーも発行可能です。



Robert Smith, Technical Director, Nottingham, March 2018

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 製品仕様 | |
| 無線プロトコル | エンオーシャン |
| 測定範囲 | 開閉状態の報告 |
| 送信感覚 | 開閉の即時報告 状況に変化がない場合は 15 分（繰り返し信号） |
| 接点検出電流 | 1uA |
| 補助電池の寿命 | 最長 10 年 |
| 補助電池 | CR2354 |
| リピート機能 | なし |
| テレグラム | 1BS |
| 使用環境 | 屋内 |
| 筐体素材 | PC-ABS |
| キャリブレーション | 工場校正 |
| 使用環境温度 | -20°C～+60°C |
| 保管環境温度 | -20°C～+60°C |
| 原寸 | 約 76.5mm x 28mm x 17.5mm |
| 接続ワイヤ直径 | 最大 1.3mm |
| EEP | D5-00-01 |

* 電池寿命は照明環境、報告頻度、用途などの要素により決まります。